



2026年6月24日

各位

会社名 株式会社 シンクロ・フード
代表者名 代表取締役兼執行役員 大久保 俊
(コード番号：3963 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理部長 森田 勝樹
(TEL. 03-5768-9522)

上場維持基準の適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2026年3月31日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2026年3月31日時点（又は「基準日時点」、以下同じ。）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、「流通株式時価総額」が基準に適合していません。当社は、今回不適合となった流通株式時価総額基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

なお、流通株式時価総額基準について、2027年3月31日までの改善期間内に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する2027年3月31日時点の分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、流通時株式時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は2027年10月1日に上場廃止となる可能性があります。

区分	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額(億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合状況（基準日時点）	3,552人	160,980単位	90.4億円	55.2%
上場維持基準	800人以上	20,000単位以上	100億円以上	35%以上
適合状況	適合	適合	不適合	適合
改善期間	—	—	2027年3月末	—

※ 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針、課題および取組内容

① 基本方針

当社は、プライム市場における上場維持を重要な経営課題の一つと捉え、以下取組みを進めております。しかしながら、今後の事業環境の変化等により、プライム市場の上場維持基準への適合が困難となる可能性が高まった場合には、スタンダード市場への市場区分の変更も選択肢の一つとして検討してまいります。

② 課題および取組内容

・ 収益構造の改善

2026年3月期における業績は、業績予想に対して未達となりました。主な要因としては、当社の主要サービスである求人広告サービスにおいて、市況環境の急速な変化によって影響を大きく受けたことによるものです。具体的には、飲食関連マクロ指標の低迷、特定技能在留外国人の増加による求人広告利用から外国人採用への切り替え、求人広告掲載課金から人材紹介や応募課金等の成功報酬型への採用手法の変化がありました。市況変化を予測し取組みを行ってまいりましたが、想定より市況変化が早く、抜

本的な対策が必要であると認識しております。求人広告サービスでは、広告掲載型を主たるサービスとしておりますが、市場の構造的な変化を受け、ニーズに沿って商品構成を最適化し、収益構造を変更する必要があると考えております。具体的な取組みとして、応募課金型・人材紹介型・外国人マッチング等の成功報酬型の課金プランの導入を行います。飲食店領域における求人広告サービスの運営で培ってきたSEOノウハウや動画集客力といった強みや、保有する外国人求職者データベース等を活かして取組みを推進してまいります。また、AI活用を通じて、業務プロセスの効率化や適切な人員配置を行うことで、更なる利益率の向上を図ってまいります。

その他として、事業ポートフォリオを再構築し、事業の選択と集中を行います。既存事業においては成長スピードに課題があるため、事業ごとに市場ポテンシャルと投資効率を見極め、成長余地の高い領域へと経営資源の再配置を段階的に行います。具体的には、飲食店領域における人材紹介事業・M&A仲介事業・プロパティマネジメント事業を考えております。

これらの取組みを通じて、持続的な売上高及び各段階利益を拡大し、収益構造を大きく改善することで、資本市場からの評価の向上を図ってまいります。

以 上